

# 2022年1月期（第38期） 第2四半期決算説明会

株式会社ACCESS

2021年9月

ACCESS™

ACCESS CO., LTD.

© 2021 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

# 将来に関する記述等についての注意点

- 本資料に含まれる業績目標等、将来に関する記述については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループで判断したものです
- 将来に関する記述には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績は記載内容と異なる場合がございますので、本資料の記載内容に全面的に依拠して、投資等の判断を行うことは差し控えてください

●ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、PUBLUS、CROSは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標又は登録商標です。●ACCESS Twineは、ACCESS Europe GmbHの欧州連合及びその他の国における商標又は登録商標です。●IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOS、OcNOSは、IP Infusion Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。●その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。

1. 2022年1月期（第38期）第2四半期  
連結業績ハイライト
2. 2022年1月期（第38期）第2四半期  
セグメント業績ハイライト

1. 2022年1月期（第38期）第2四半期  
連結業績ハイライト

# 第38期第2四半期 連結業績ハイライト①

- ロイヤリティ収入の増加等で前年同期比で26.8%の増収
- EBITDAは266百万円改善
- また営業外収益として投資事業組合運用益452百万円を計上\*

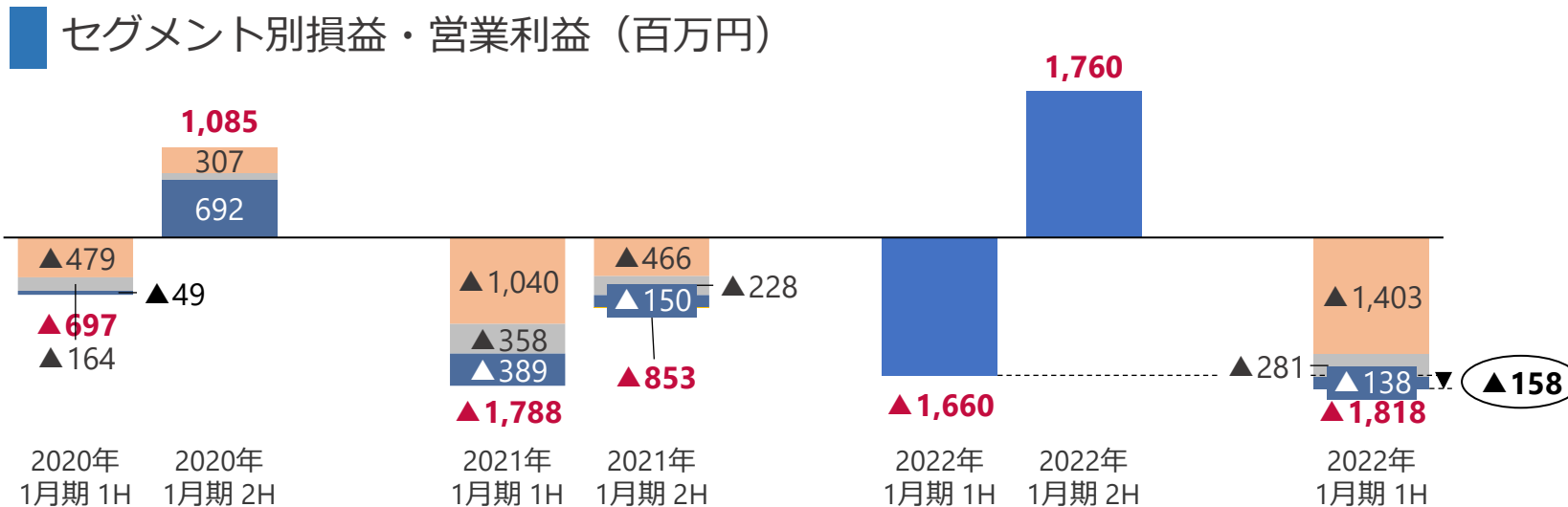
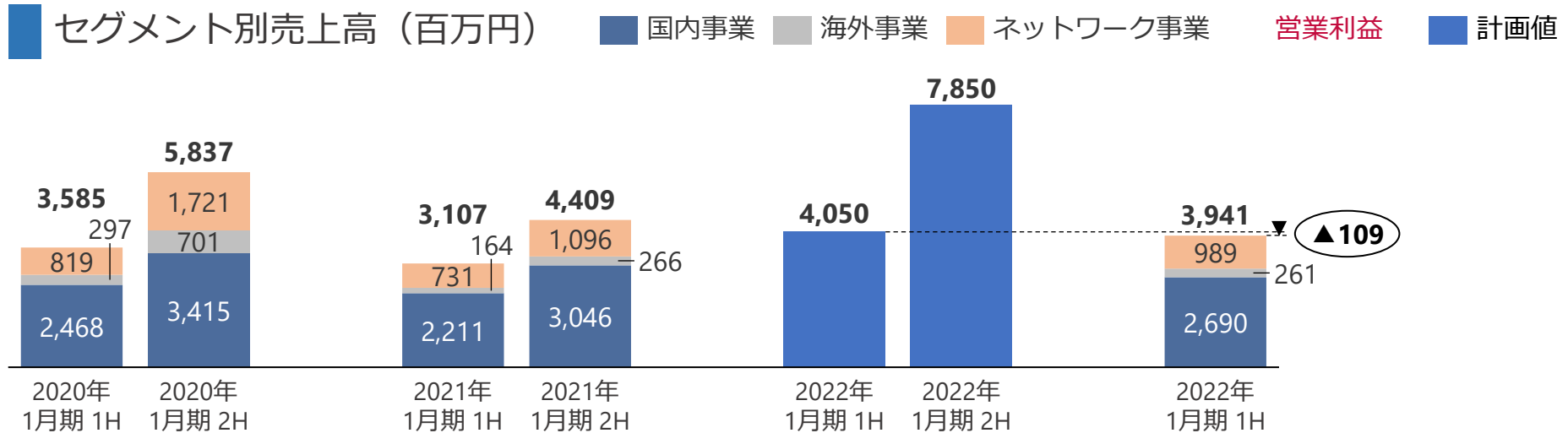
(百万円)	2022年1月期第2四半期	前年同期比
売上高	3,941	+26.8%
営業利益	▲1,818	- (前年同期：▲1,788)
EBITDA**	▲273	- (前年同期：▲539)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲1,412	- (前年同期：▲1,735)

\* 8月30日付け「投資事業組合運用益（営業外収益）の計上及び2022年1月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」参照

\*\* EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

# 第38期第2四半期 連結業績ハイライト②

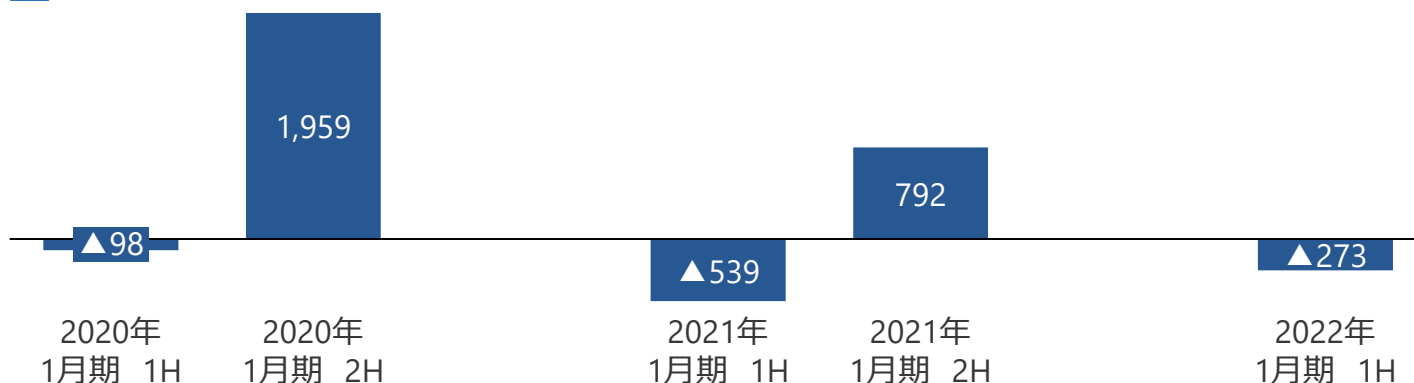
- ロイヤリティ収入の増加等各セグメントで増収。売上原価と販管費はソフトウェアの減価償却費や人員体制の強化に伴う費用が増加



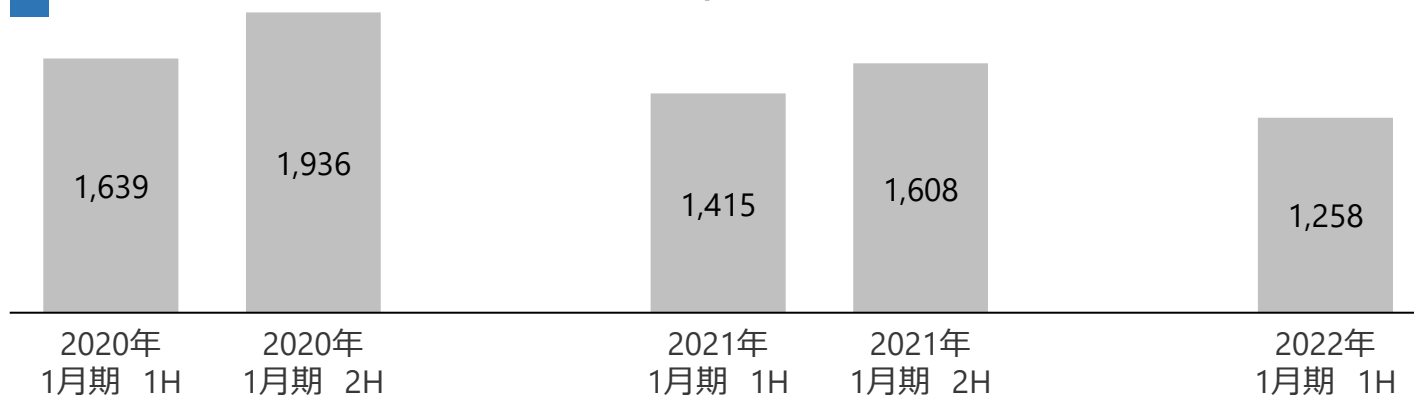
# 第38期第2四半期 連結業績ハイライト③

- EBITDAは前年同期比で増加
- ネットワーク事業をはじめ成長分野への製品開発投資は継続

連結EBITDA (百万円)



ソフトウェア資産取得額 (百万円)



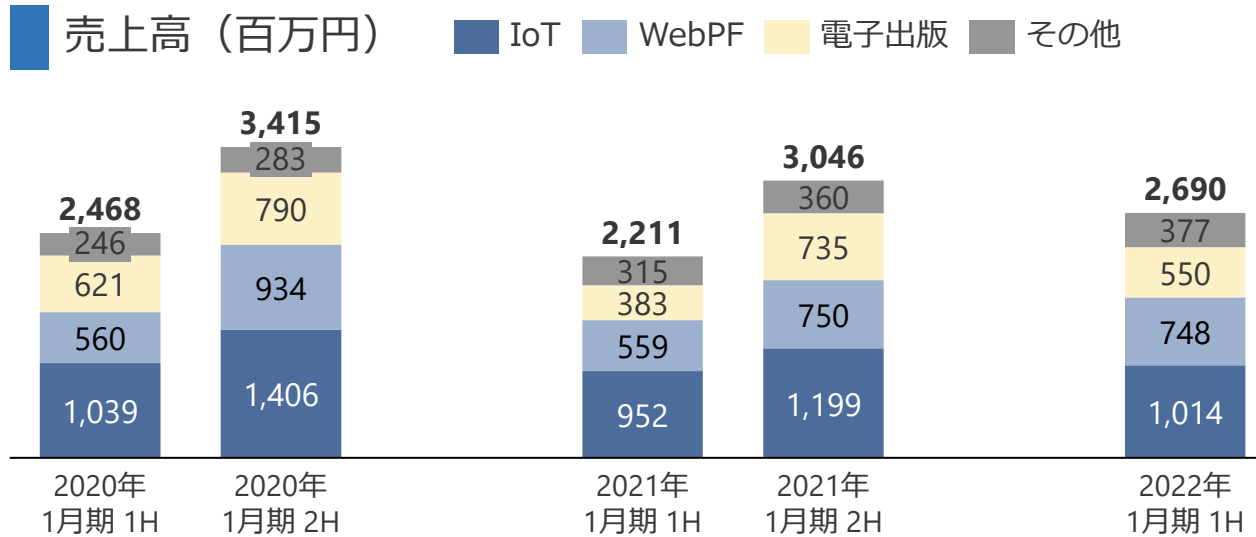
2. 2022年1月期（第38期）第2四半期  
セグメント業績ハイライト



# 第38期第2四半期 セグメント業績ハイライト①-1

(国内事業 業績)

- いずれの事業も業績は堅調に推移し、前年同期比で増収増益



## IoT分野

インフラ関連の案件を中心に引き合いは増加しており、受注増

## Webプラットフォーム分野

当社ブラウザを搭載した製品の出荷台数が好調に推移しロイヤリティ収入増

## 電子出版分野

既存サービスのユーザビリティ向上等の開発を行い、収益拡大に取り組む

## その他

台湾子会社における、通販事業者向けサービスの業績が堅調に推移



# 第38期第2四半期 セグメント業績ハイライト①-2

(国内事業 今後の取り組み)

- 国内事業セグメントの今後の取り組みは以下の通り

## IoT分野

- センサーデバイスから個別アプリケーション、クラウド基盤までワンストップで提供可能という強みを活かし、様々な業界においてIoTサービス開発・構築案件の受注に取り組む
  - 産業用ドローンやデータサイエンス等の先端技術と連携した提案の強化
  - 位置情報を活用したLinkitシリーズの販売強化
  - 脱炭素社会の実現に向けた、エネルギーマネジメント・ソリューションの提案強化



## Webプラットフォーム分野

- TV向けブラウザにおける高いシェアの維持に努める
- 車載機器向けに交通情報等の運転支援情報と各種コンテンツの視聴等の娯楽情報を統合して提供する車載インフォテインメント需要への対応を図る

**NetFront**® Browser

## 電子出版分野

- 有力な顧客基盤である大手出版社や独自コンテンツを保有する事業者との関係強化を推進し、マーケットシェアの拡大に努める
- 購読履歴の分析やプロモーション支援等の新たなビジネスモデルに対応したプラットフォームの機能強化とサービス提供範囲の拡大を通じて、収益機会を拡大していくことに努める



## その他

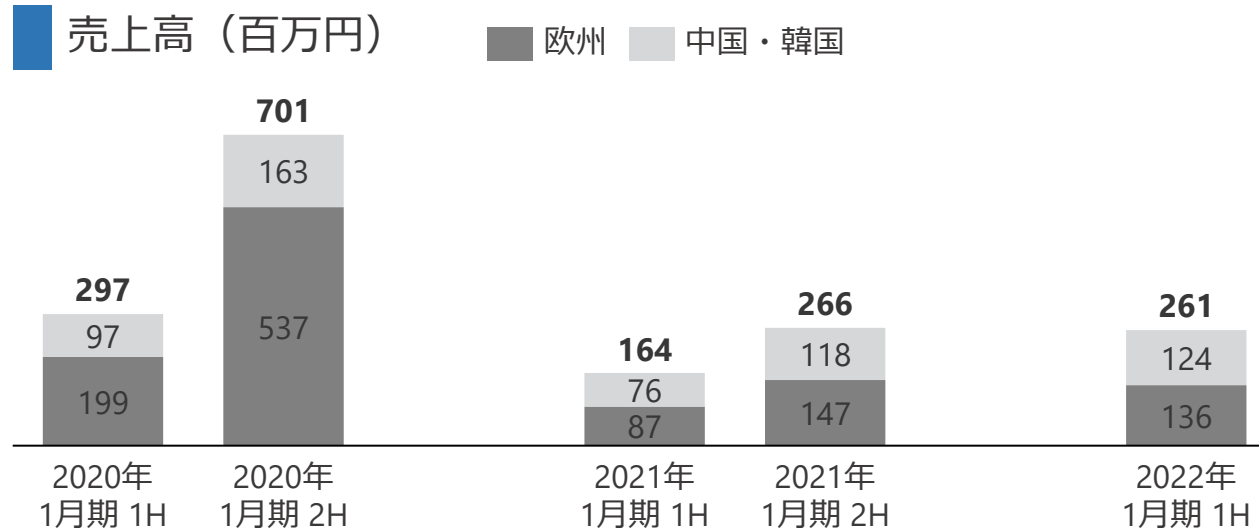
- 既存顧客基盤の維持とともに、サービス展開地域の拡大等を通じて事業成長を目指す



# 第38期第2四半期 セグメント業績ハイライト②-1

(海外事業 業績)

- ロイヤリティ収入の増加により前年同期比で増収増益

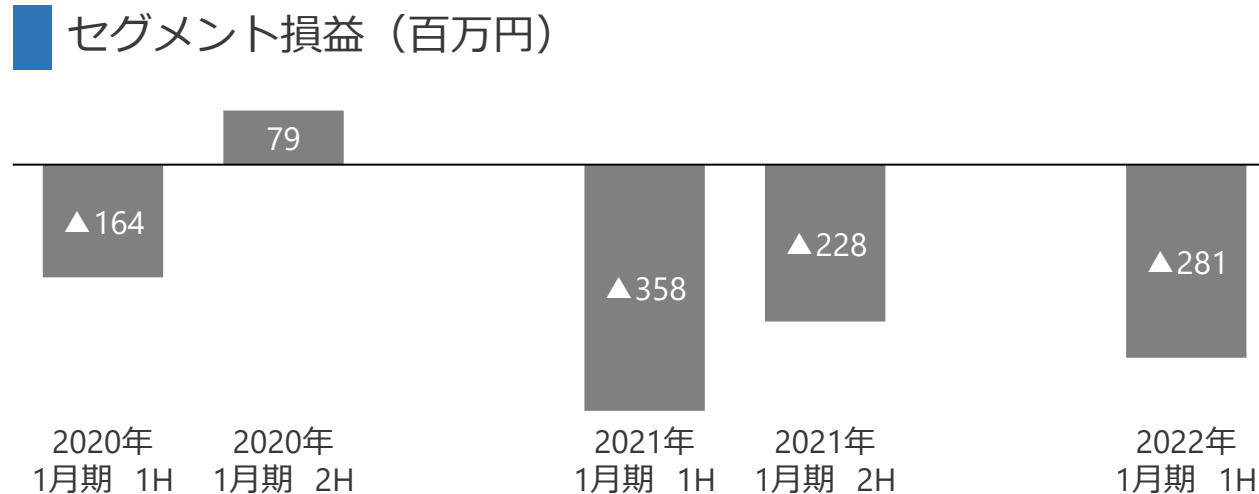


## 欧州

車載インフォテインメント向けコンテンツ配信・サービスプラットフォーム事業を引き続き育成

## 中国・韓国

当社ブラウザを搭載した製品の出荷台数が好調に推移しロイヤリティ収入増



# 第38期第2四半期 セグメント業績ハイライト②-2

(海外事業 今後の取り組み)

- 海外事業セグメントの今後の取り組みは以下の通り

## 欧州

- 既存ブラウザの収益基盤の回復を優先し、車載インフォテインメント向け分野の事業は長期的に育成
  - ブラウザは、これまでの実績と知見を活用し、自動車分野・TV分野それぞれで事業展開
  - NetRange製品は、TV分野での展開及び広告サービスの立ち上げを企図
  - 上記で収益基盤を支えながら、車載インフォテインメント向け分野の事業を長期的に育成



## 中国・韓国

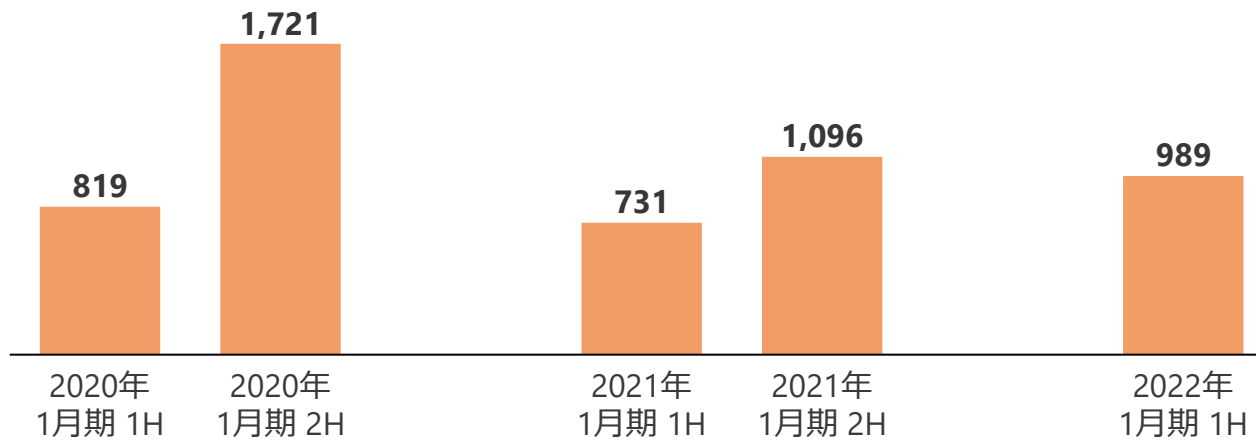
- 当社グループ内で新規開発・事業化したソリューションの積極的な現地展開を図っていく

# 第38期第2四半期 セグメント業績ハイライト③-1

(ネットワーク事業 業績)

- 受注案件数の増加で増収も、人件費やソフトウェアの減価償却費の増加による費用増が上回り前年同期比で増収減益

売上高 (百万円)

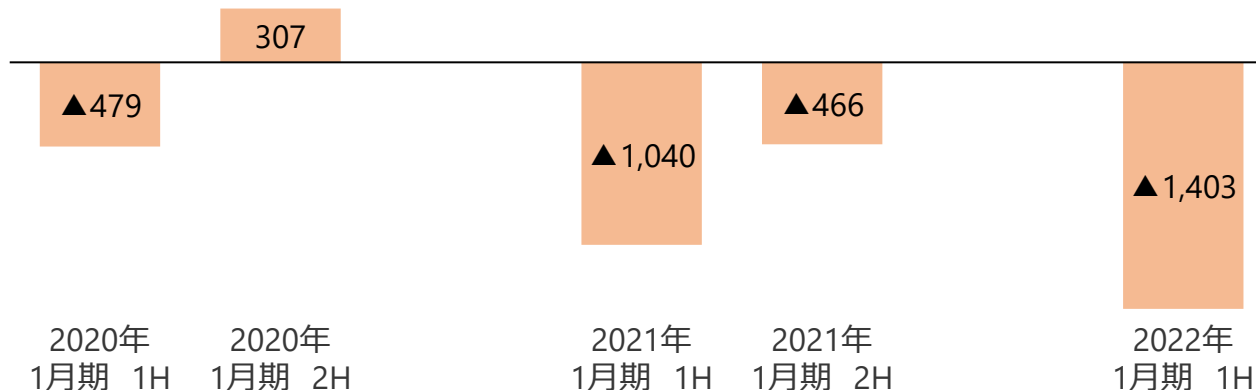


## セグメント全体

案件の引き合い及び受注数は順調に増加の一方で、初期導入金額が当初想定より小さくスタートする傾向

引き続き大型案件の受注に向けた実証実験・交渉は継続

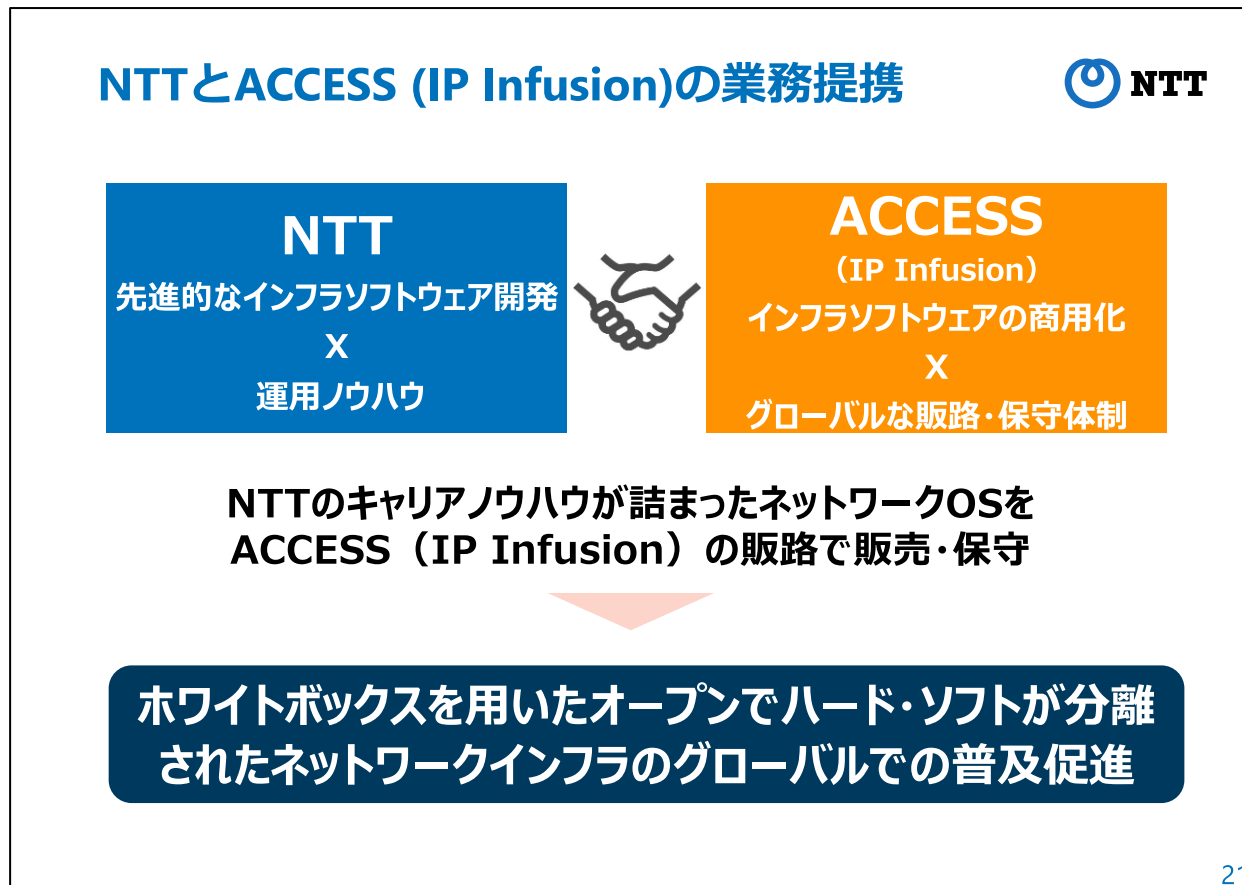
セグメント損益 (百万円)



# 第38期第2四半期 セグメント業績ハイライト③-2

(ネットワーク事業 NTTとの業務提携)

- IOWN 構想では、「オールフォトニクス」ネットワークの構築とその技術を生かした IOWNプロダクトの開発を行う
- 将来のIOWNプロダクトの展開に先行して、NTTで開発されたネットワークOSを商用化し、グローバル市場で販売・保守する体制の構築にあたり、IPI の販売・保守体制を活用



出典：7/27 NTT報道発表 (<https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/07/27/210727a.html>) 補足資料